

様々な排出源からのCO₂分離回収

(実施期間：2013～)

技術テーマ区分番号：⑫、⑮、⑳

主な実施場所：全国

関連外部リンク先

- https://www.toshiba.co.jp/about/press/2016_08/pr_j1001.htm
- https://www.toshiba-energy.com/info/info2019_1223.htm
- https://www.toshiba-energy.com/info/info2020_1031.htm

取組活動の内容

事業目的・概要

- 火力発電所や産業分野において発生する排ガスに含まれるCO₂を分離回収して地中に隔離貯留するCCS (Carbon dioxide Capture and Storage) や、回収したCO₂を利活用するCCU (Carbon dioxide Capture and Utilization) を実現するための、CO₂分離回収技術の開発と実用化を進めている。
- 火力発電所の実排ガスを処理するパイロットプラントを自社で保有しており、開発した新技術の実機への適用に際しては、このプラントでの検証試験を事前に行うことにより信頼性を確保している。
- 当社が採用している化学吸収法は、その守備範囲の広さと技術成熟度の高さから、様々な排出源への適用に好都合であると考えられ、更なる性能向上や低コスト化によって国内外へのCO₂分離回収システムの導入を促進し、低炭素社会の実現とそれによる地球温暖化抑制に貢献していく。

公的資金の活用状況

2016～2020年度 環境省「環境配慮型CCS実証事業」

イメージ図

パイロットプラント（三川発電所内）にて技術検証



工場ボイラ設備への適用（アサヒクオリティーアンドイノベーションズ様向け：2019年運開）



清掃工場への適用（佐賀市様向け：2016年運開）



バイオマス火力への適用（環境省実証事業：2020年運開）